

チェック 1

() 学校 () 年 (男・女)

※わかる範囲で記入してください。

	チェック項目	チェック
聞く	1 簡単な単語の意味を取り違えることが多い。	
	2 指示に従うことができず、戸惑うことが多い。	
	3 聞き違いが多い。	
	4 聞いたことがなかなか覚えられない。	
	5 相手の話を聞いていないと感じられることがある。	
	6 学級の話し合いについていけない。	
	7 ちょっとした雑音でも注意がそれやすい。	
話す	1 意味のない話し言葉が多い。	
	2 相手が言った言葉を繰り返すことが多い。	
	3 特定の音節の発音ができない。	
	4 幼児語が多い。	
	5 文法的に誤りのある不完全な文で話すことが多い。	
	6 的確な言葉を見つけられなかったり、つまったりすることが多い。	
	7 相手が聞いて分かるように話せない。	
	8 自分だけに意味ある言葉を作って話す。	
	9 「て」「に」「を」「は」をうまく使って話せない。	
	10 経験したことを順序立てて話すことができない。	
	11 自分から人に話しかけようとしない。	
	12 自分の意見を言葉で表せない。	
読む	1 文字の弁別ができない(あ/お、ぬ/め、の/め、などの区別ができない)。	
	2 読めない平仮名、片仮名がある。	
	3 文字を抜かしたり、付け加えたりして読む。	
	4 一文字一文字は読めるが、極端なたどり読みが見られる。	
	5 促音や拗音を読み間違える。	
	6 文字の順序を読み違えたり(はしご→はごし)、混同したり(にぐるま→にじまる)して読む。	
	7 行をとばしたり、2回読んだりする。	
	8 語尾が変化する(「する」→「します」など文末を変えて読む)。	
	9 読んでいる箇所が頻繁に分からなくなる。	
	10 句読点の無視で意味が混乱する(句読点で適切に切って読めない)。	
	11 内容に関して意味の理解がない。	
書く	1 書けない平仮名、片仮名がある。	
	2 判読しにくい乱雑な文字を書く。	
	3 鏡に映したように左右が反転した文字(鏡文字)が見られる。	
	4 発音どおりに書く(へ→え、は→わ と書くことができない)。	

	5	促音や拗音を間違えて書く。		
	6	文字が抜けることが頻繁にある。		
	7	文字を抜かしたり（がっこう→がこう）、転化させたり（花だん→花ざん）して書く。		
	8	黒板の字を視写するのに時間がかかる（何度も繰り返して確認しないと書けない）。		
	9	漢字の細かい部分を間違えて書く。		
	10	漢字の“へん”と“つくり”を反対に書く。		
	11	聴写できない（一文字ずつしか書けない。短い文でも聞き返して書く）。		
	12	句読点がうまく使えない。		
	13	作文が極端にまとまらない（文章どうしに関連がない。内容が拡散してしまう）。		
	14	文章に書くと、一文字一文字の大きさのバランスが極端に悪い。		
	計算する	1	＋、－、×、÷、＝、＜、＞などの記号の意味を理解できない。	
		2	四則計算をする場合に、自分勝手なルールを作り、これをもとに計算することがある。	
		3	1位数どうしや2位数どうしの計算でも30秒以上の時間がかかることがある。	
		4	1位数どうしや2位数どうしの加法や減法の計算が暗算できない。	
5		数字どうしの大小が分からない（大小判断、位取りの意味が分かっていない）。		
6		やさしい加減算でも指を使う。		
7		繰り上がり、繰り下がりができない（繰り上がりが理解できない、繰り上がったことを忘れてしまう）。		
8		九九を完全に覚えていない。		
9		筆算になると桁をそろえて計算できない（数字を下げていくうちに位がずれる）。		
10		ケアレスミスが極端に多い。		
11		小数、分数が分からない（概念が理解できない、演算ルールが覚えられない）。		
12		3つ以上の数の含まれる多くの操作を要する計算（ $9 \div 3 + 2 - 1$ ）ができない。		
13		加法と減法、乗法と除法の関係など、計算相互の関係が理解できない。		
14		単位の換算（例： $10\text{cm} \Leftrightarrow 100\text{mm}$ ）ができない。		
推論する	1	三角定規やコンパスなどの器具を用いて、図形（多角形や円）をかき表すことが難しい。		
	2	形を構成したり、分解したりする活動ができない。		
	3	正方形や長方形、三角形などの図形を構成する要素が分からない。		
	4	図形の見取図や立体図をかくことが難しい。		
	5	図形の構成要素（辺、頂点、角、直径、中心など）や構成要素間の関係の理解が難しい。		
	6	2と3を一緒にすれば5になることが分かっているが、その逆の5が2といくつになるかが分からない。		
	7	～の上に（下に）、～の右に（左に）、～の前に（後ろに）というような空間概念を表す言葉の意味が理解できない。		
	8	昨日、今日、明日、あるいは、より早い（前）/より遅い（後）というような時間概念を表す言葉の意味が理解できない。		
	9	アナログ式時計を見て、時刻が読めない。		
	10	算数の用語や記号、また面積などを求める公式をなかなか覚えられない。		
	11	表やグラフから数量の間の関係を読み取ることができない。		
	12	変化する数量の間の関係を表やグラフで表すことができない。		

チェック2

() 学校 () 年 (男・女)

※わかる範囲で記入してください。

	チェック項目	チェック
教科指導における気付き	1 本人の興味のある教科には熱心に参加するが、そうでない教科では退屈そうにみえる。	
	2 本人の興味ある特定分野の知識は大人顔負けのものがある。	
	3 自分の考えや気持ちを、発表や作文で表現することが苦手である。	
	4 こだわると本人が納得するまで時間をかけて作業等をすることがある。	
	5 教師の話や指示を聞いていないようにみえる。	
	6 学習のルールやその場面だけの約束ごとを理解できない。	
	7 一つのことに興味があると、他の事が目に入らないようにみえる。	
	8 場面や状況に関係ない発言をする。	
	9 質問の意図とずれている発表（発言）がある。	
	10 不注意な間違いをする。	
	11 必要な物をよくなくす。	
行動上の気付き	1 学級の児童生徒全体への一斉の指示だけでは行動に移せないことがある。	
	2 離席がある、椅子をガタガタさせる等落ち着きがないようにみえる。	
	3 順番を待つのが難しい。	
	4 授業中に友達の邪魔をすることがある。	
	5 他の児童生徒の発言や教師の話を遮るような発言がある。	
	6 体育や図画工作・美術等に関する技能が苦手である。	
	7 ルールのある競技やゲームは苦手のようにみえる。	
	8 集団活動やグループでの学習を逸脱することがある。	
	9 本人のこだわりのために、他の児童生徒の言動を許せないことがある。	
	10 係活動や当番活動は教師や友達に促されてから行うことが多い。	
	11 自分の持ち物等の整理整頓が難しく、机の周辺が散らかっている。	
	12 準備や後片付けに時間がかかり手際が悪い。	
	13 時間内で行動したり、時間配分したりすることが適切にできない。	
	14 掃除の仕方、衣服の選択や着脱などの基本的な日常生活の技能を習得し	

		ていない。	
コミュニケーションや言葉遣いにおける気付き	1	会話が一方通行であったり、応答にならなかつたりすることが多い。 (自分から質問をしても相手の回答を待たずに次の話題に行くことがある。)	
	2	丁寧すぎる言葉遣い(場に合わない、友達どうしても丁寧すぎる話し方)をする。	
	3	周囲に理解できないような言葉の使い方をする。	
	4	話し方に抑揚がなく、感情が伝わらないような話し方をする。	
	5	場面や相手の感情、状況を理解しないで話すことがある。	
	6	共感する動作(「うなづく」「身振り」「微笑む」等のジェスチャー)が少ない。	
	7	人に含みのある言葉や嫌味を言われても、気付かないことがある。	
	8	場や状況に関係なく、周囲の人が困惑するようなことを言うことがある。	
	9	誰かに何かを伝える目的がなくても、場面に関係なく声を出すことや独り言が多い。	
対人関係における気付き	1	友達より教師(大人)と関係をとることを好む。	
	2	友達との関係の作り方が下手である。	
	3	一人で遊ぶことや自分の興味で行動することがあるため、休み時間一緒に遊ぶ友達がいないようにみえる。	
	4	ロゲンカ等、友達とのトラブルが多い。	
	5	邪魔をする、相手をけなす等、友達から嫌われてしまうようなことをする。	
	6	自分の知識をひけらかすような言動がある。	
	7	自分が非難されると過剰に反応する。	
	8	いじめを受けやすい。	

「小・中学校におけるLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、高機能自閉症の児童生徒への教育支援体制の整備のためのガイドライン」(文部科学省)より

※ 事前調査シートに添付すること